



IMV株式会社

決算説明資料

2025年9月期

Index

1. 2025年9月期決算サマリー
2. 中期経営計画の見直し
3. 各種の取り組み
4. Appendix

Index

1. 2025年9月期決算サマリー
2. 中期経営計画の見直し
3. 各種の取り組み
4. Appendix

・売上高・利益の両面において5期連続で過去最高を更新
・受注・引き合いとも継続して好調、26/9期に向けて堅調な見通し

売上高

前期比 +17.0%

17,941百万円

営業利益

前期比 +25.3%

2,315百万円

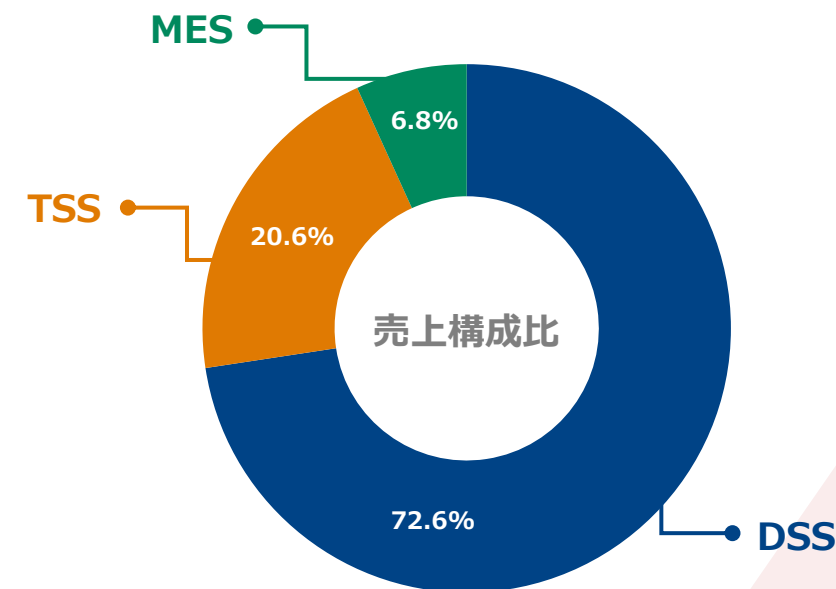
EBITDA

前期比 +23.1%

2,991百万円

セグメント別売上	24年9月期	25年9月期	前期比
DSS 振動シミュレーションシステム	10,879	13,021	+19.7%
TSS テスト&ソリューションサービス	3,149	3,687	+17.1%
MES メジャリングシステム	1,311	1,232	△6.0%

(単位：百万円)



新規試験所の稼働開始



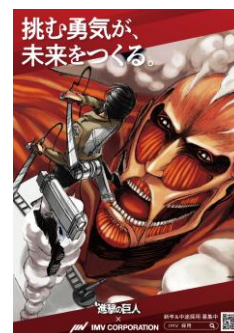
国内外の3カ所にて新たな試験所を開設、稼働を開始した。大阪本社には多目的試験所を、埼玉県入間市の日本高度信頼性評価試験センター(e-TCJ)にはEMC試験専用棟を新設。**航空宇宙・防衛産業を中心に多くの受注・引き合いがあり、稼働率・予約率ともに非常に高い。**ベトナム ホーチミン市でも試験所を新設し、ベトナム国内でワンストップ試験サービスを提供できる体制を強化した。

予知保全



機械の状態監視に革命をもたらす新世代の振動診断ユニット「VD-unit」をリリース。これまで監視が困難であった設備機械や設置を諦めていたケースに対しても、最適な状態監視を行うことが可能となった。

ブランディング



ブランディングにも力を入れており、25年9月からは「進撃の巨人」とコラボレーションした広告を展開。大阪梅田やJRの列車内に掲示を行い、SNS等で大きな反響を得た。引き続き採用活動・IR・SRなど、対外発信にも注力していく。

決算概要（連結）①

- ・増収効果が牽引し各段階利益も増加
- ・EPSが前年同期比+37.1%

	24年9月期	25年9月期	増減	
売上高 (百万円)	15,340	17,941	+2,600	売上高
営業利益 (百万円)	1,847	2,315	+467	(+) 国内、欧州でDSSが好調
営業利益率 (%)	12.0%	12.9%	+0.9pt	(-) MESは前期比減収
経常利益 (百万円)	1,853	2,569	+716	利益
経常利益率 (%)	12.1%	14.3%	+2.2pt	(+) 粗利率の高い案件の増加
当期純利益 (百万円)	1,428	1,935	+507	(+) 生産プロセスの最適化や新サービスの提供
当期純利益率 (%)	9.3%	10.8%	+1.5pt	(-) 一部部材の高騰
EPS (1株当たり当期純利益) (円)	88.75	121.68	+32.93	(-) 米国関税の影響が約16万USD
ROE	14.7%	17.5%	+2.8pt	(-) 人的資本に関する投資増加

(単位：百万円)

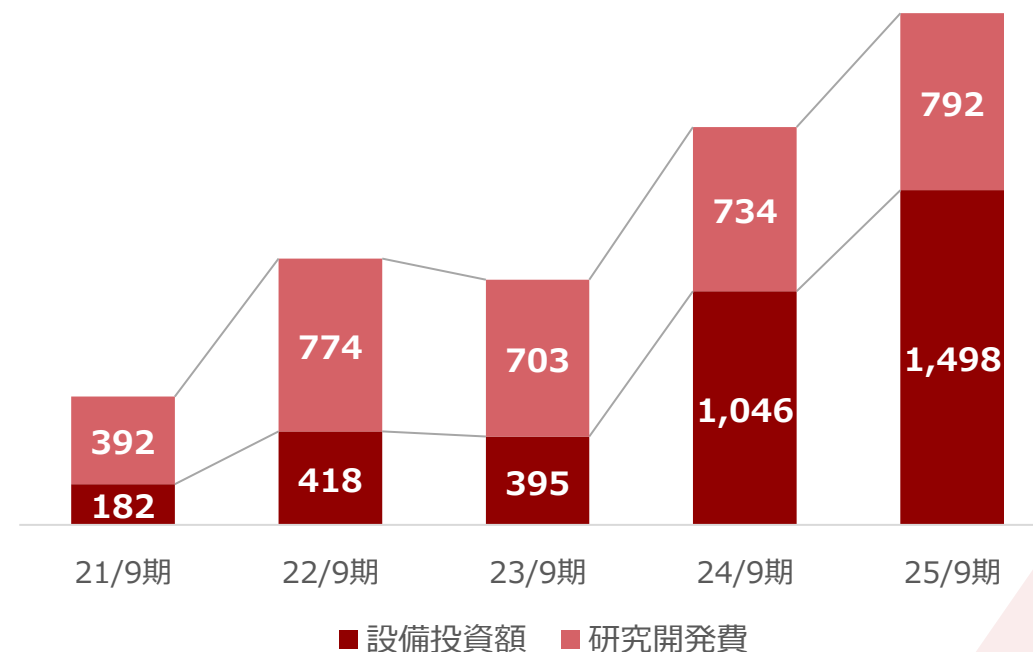
決算概要（連結）②

- ・新規試験所の新設を中心に設備投資額が増加
- ・前年同期と比較して株価が2.5倍以上に

	24/9期	25/9期	増減
設備投資額（百万円）	1,046	1,498	+452
減価償却費（百万円）	583	676	+93
研究開発費（百万円）	734	792	+58
期末株価（円）	692	1,862	+1,170
期末時価総額 （自己株式を除く）（百万円）	11,007	29,628	+18,622

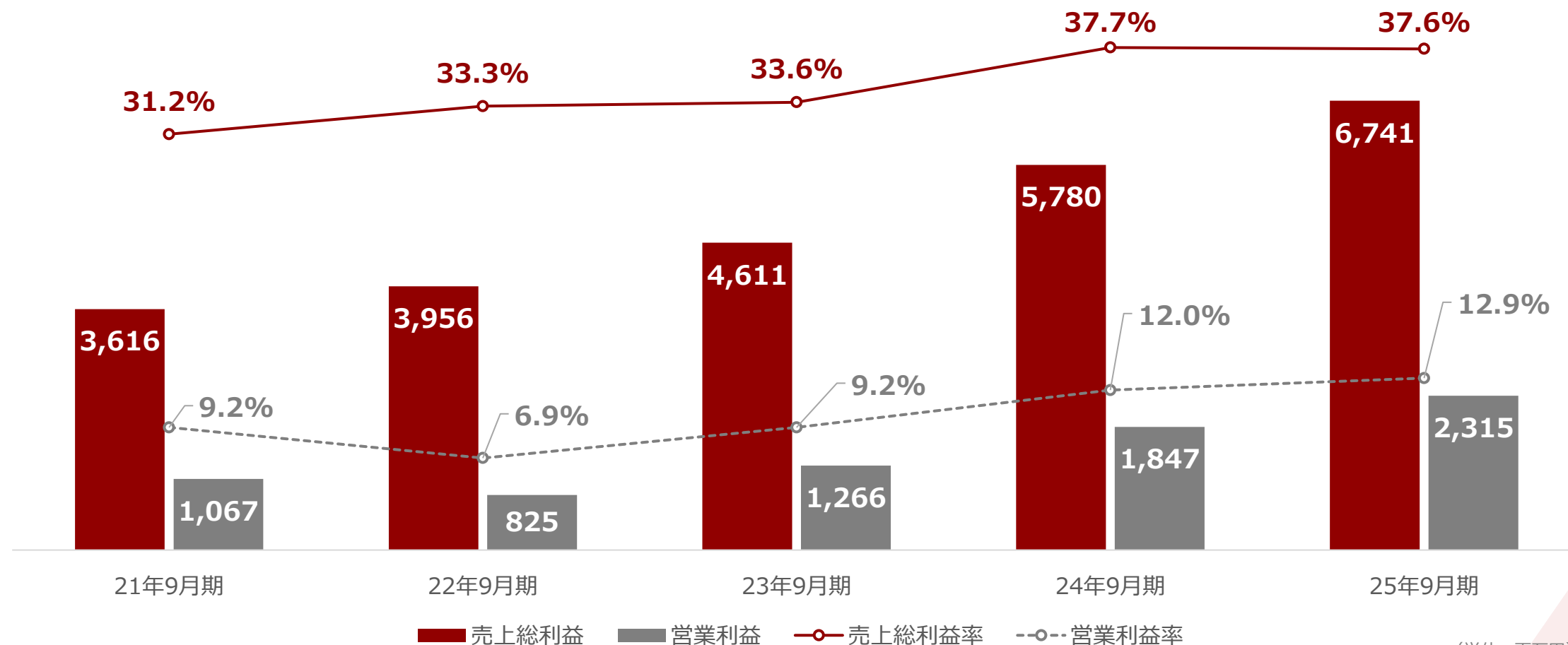
（単位：百万円）

設備投資額および研究開発費の推移



売上総利益および営業利益の推移

セールスマックスの変化や利益率の高い案件の獲得などで、利益率は高水準を維持



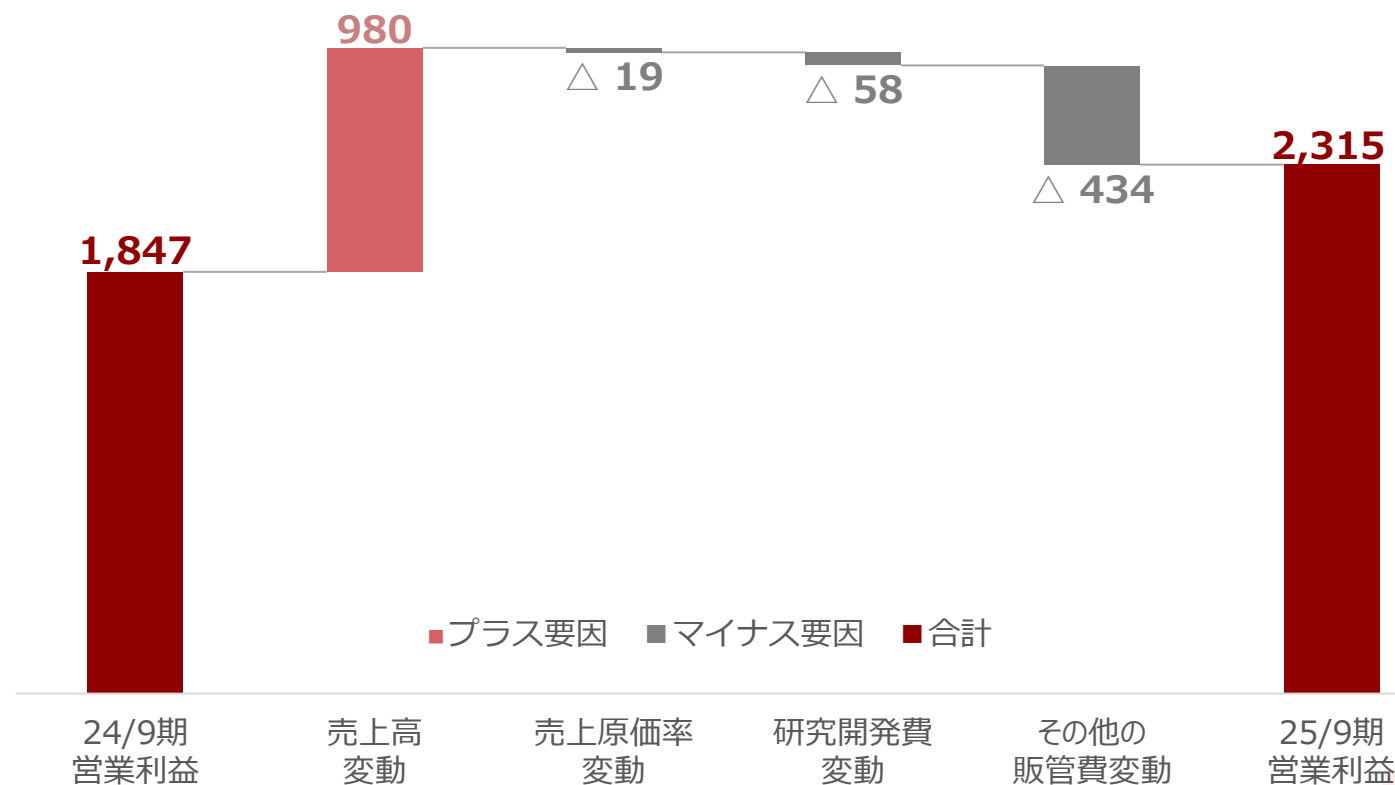
(単位：百万円)

営業利益増減要因

- ・増収効果が販管費の上昇を上回ることによって営業利益が増加
- ・販管費は増収に伴う適正な範囲内での上昇

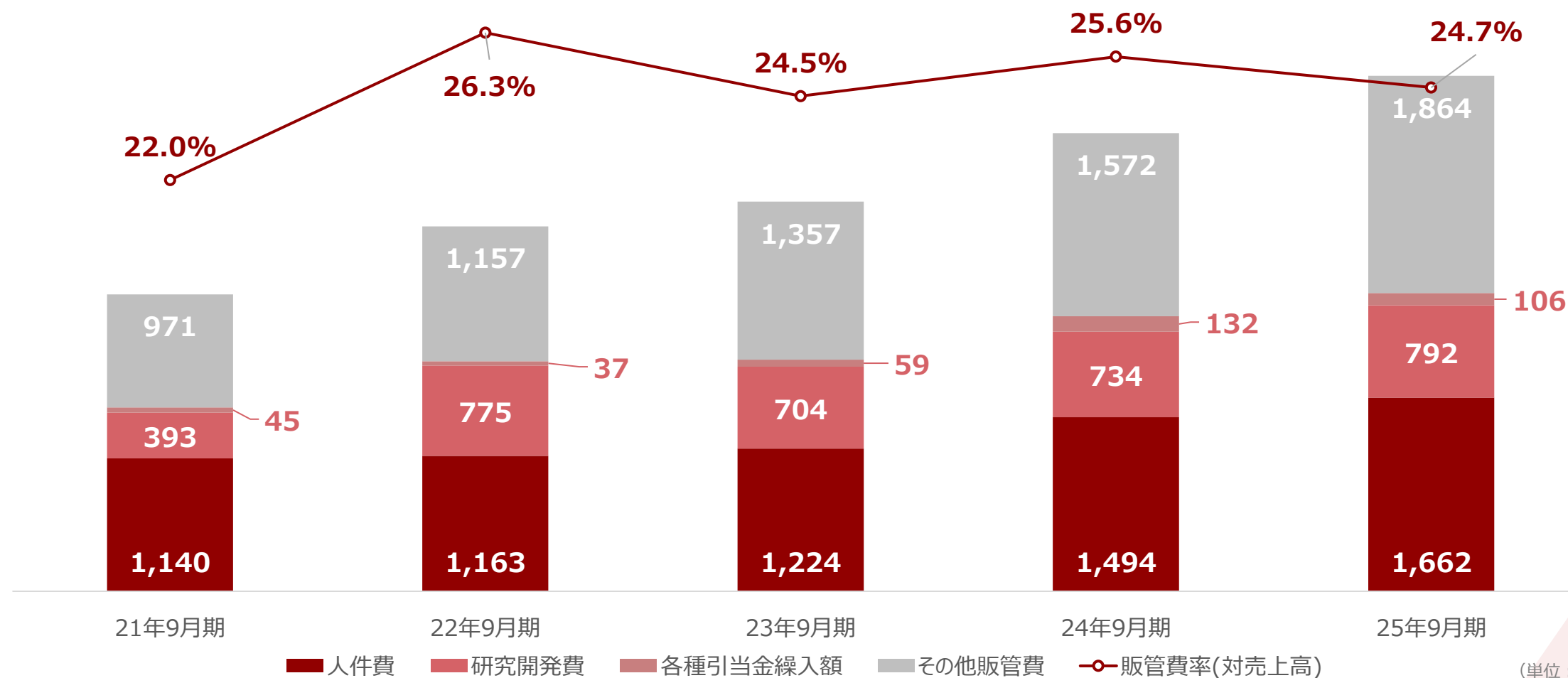
24/9期 営業利益	1,847
売上高変動による影響	+980
売上原価率変動による影響	△19
研究開発費変動による影響	△58
その他の販管費変動による影響	△434
25/9期 営業利益	2,315

(単位：百万円)



販売費及び一般管理費の内訳

・売上の増加に伴い販売費が増加するも、販管費の売上高に占める割合は減少



(単位：百万円)

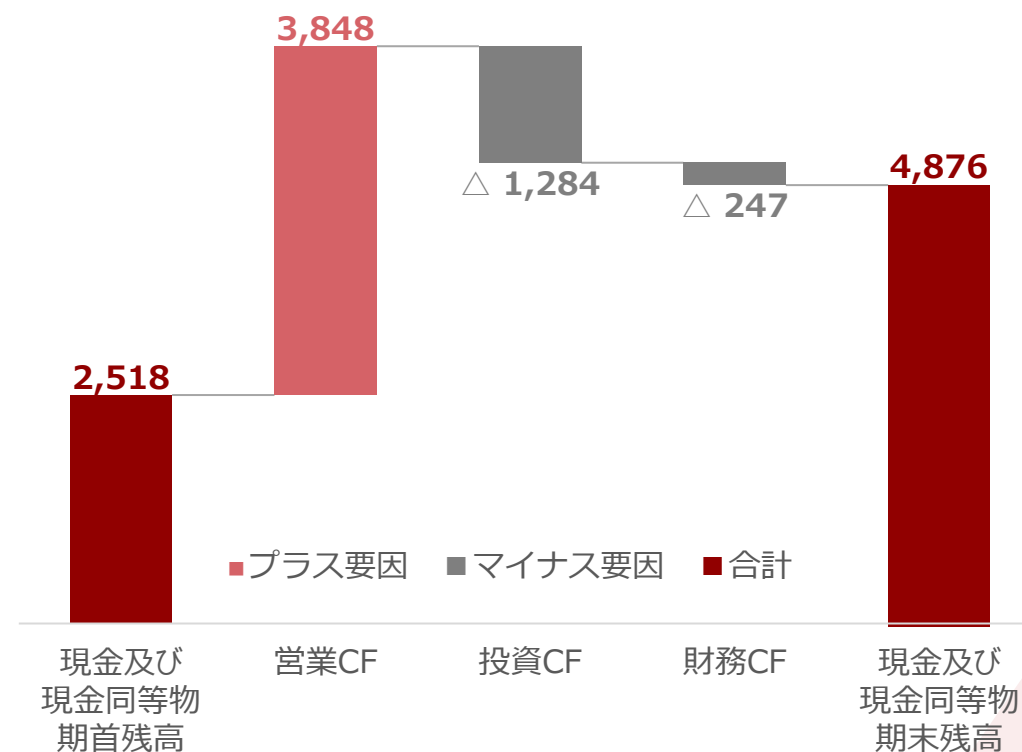
キャッシュフローおよび資本の状況

・営業キャッシュ・フローの大幅増によりフリー・キャッシュ・フローも伸長
・投資も継続して実行

	24/9期	25/9期	増減
営業キャッシュ・フロー	2,006	3,848	+1,842
フリー・キャッシュ・フロー	972	2,646	+1,592
現金及び現金同等物残高	2,518	4,876	+2,358
自己資本	10,217	11,884	+1,666
自己資本比率	53.0%	50.9%	△2.1pt

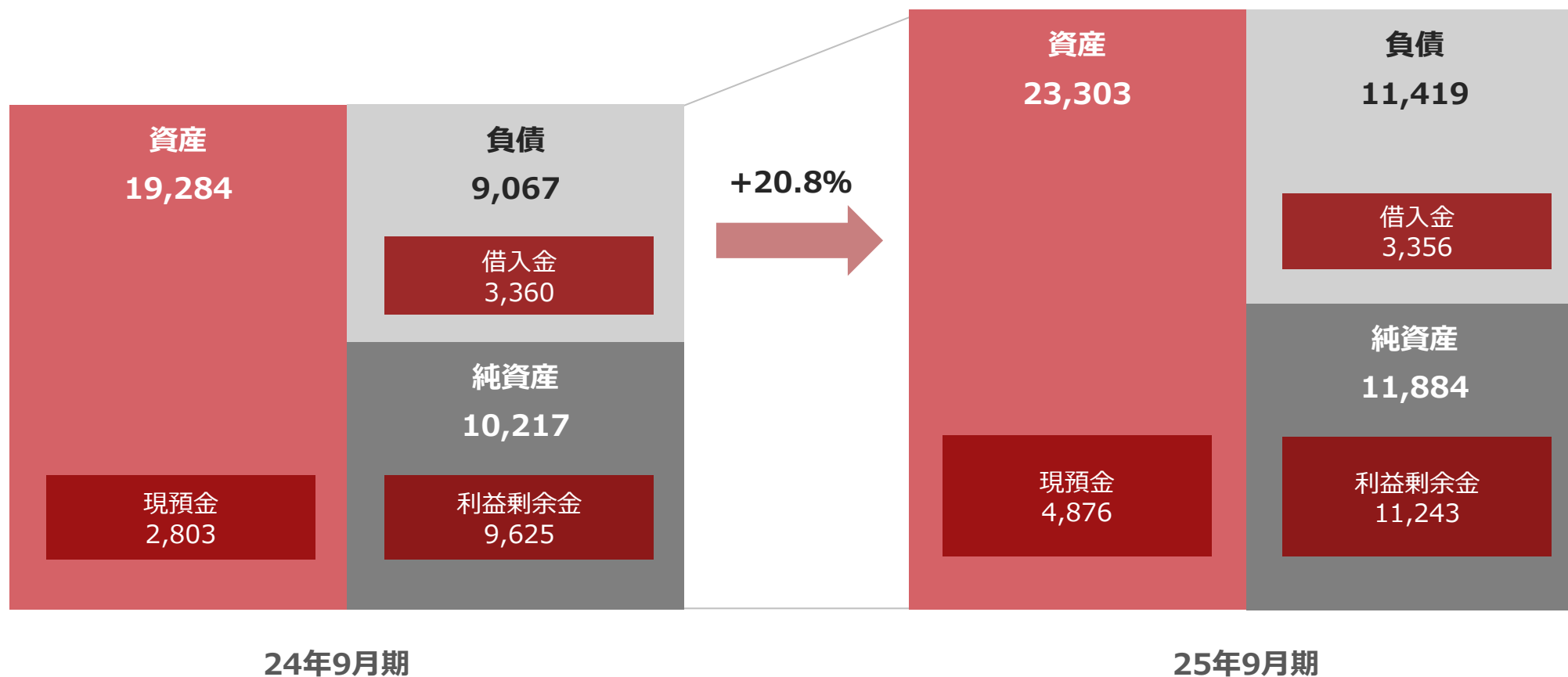
(単位：百万円)

キャッシュフローの推移



* 差額は現金及び現金同等物に係る換算差額

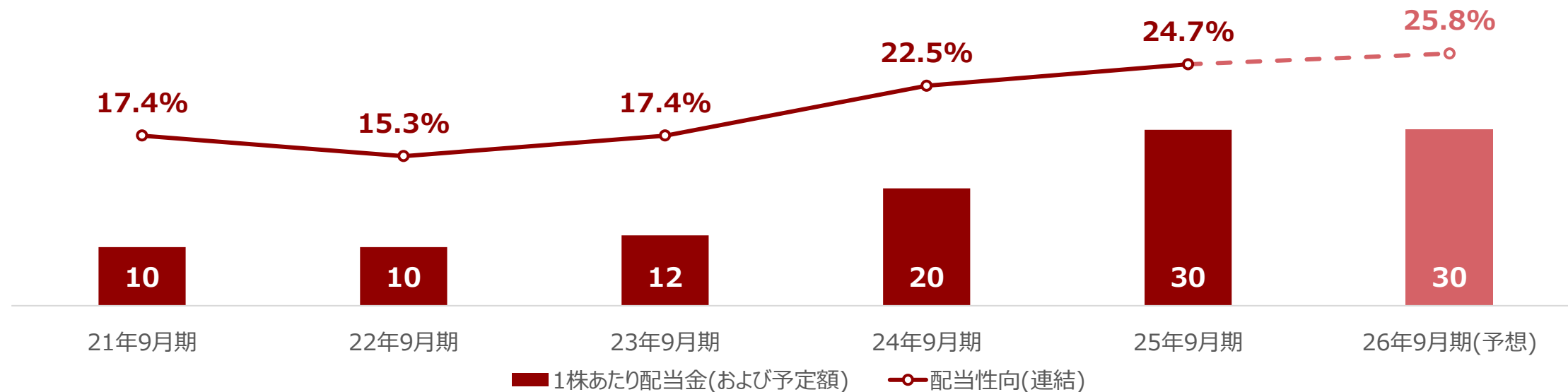
- ・多目的試験所開設に伴い固定資産が増加
- ・借入金の比率は低率を維持し、財務健全性は良好



(単位：百万円)

配当金および配当性向

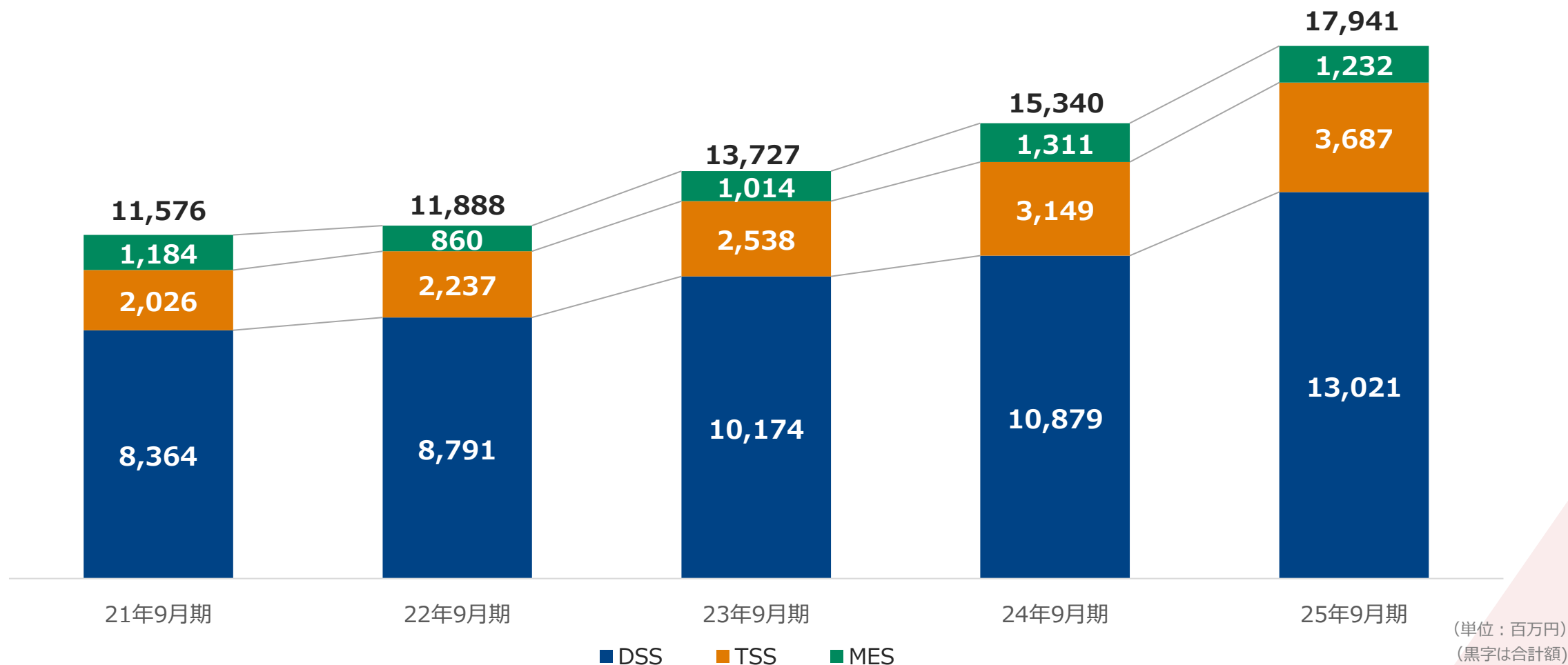
安定配当から、利益と連動した株主還元方針への転換



	21年9月期	22年9月期	23年9月期	24年9月期	25年9月期	26年9月期 (予想)
1株あたり配当金(および予定額) (円)	10	10	12	20	30	30
EPS(1株当たり当期純利益) (円)	57.52	65.42	69.11	88.75	121.68	116.28
配当性向(連結) (%)	17.4	15.3	17.4	22.5	24.7	25.8

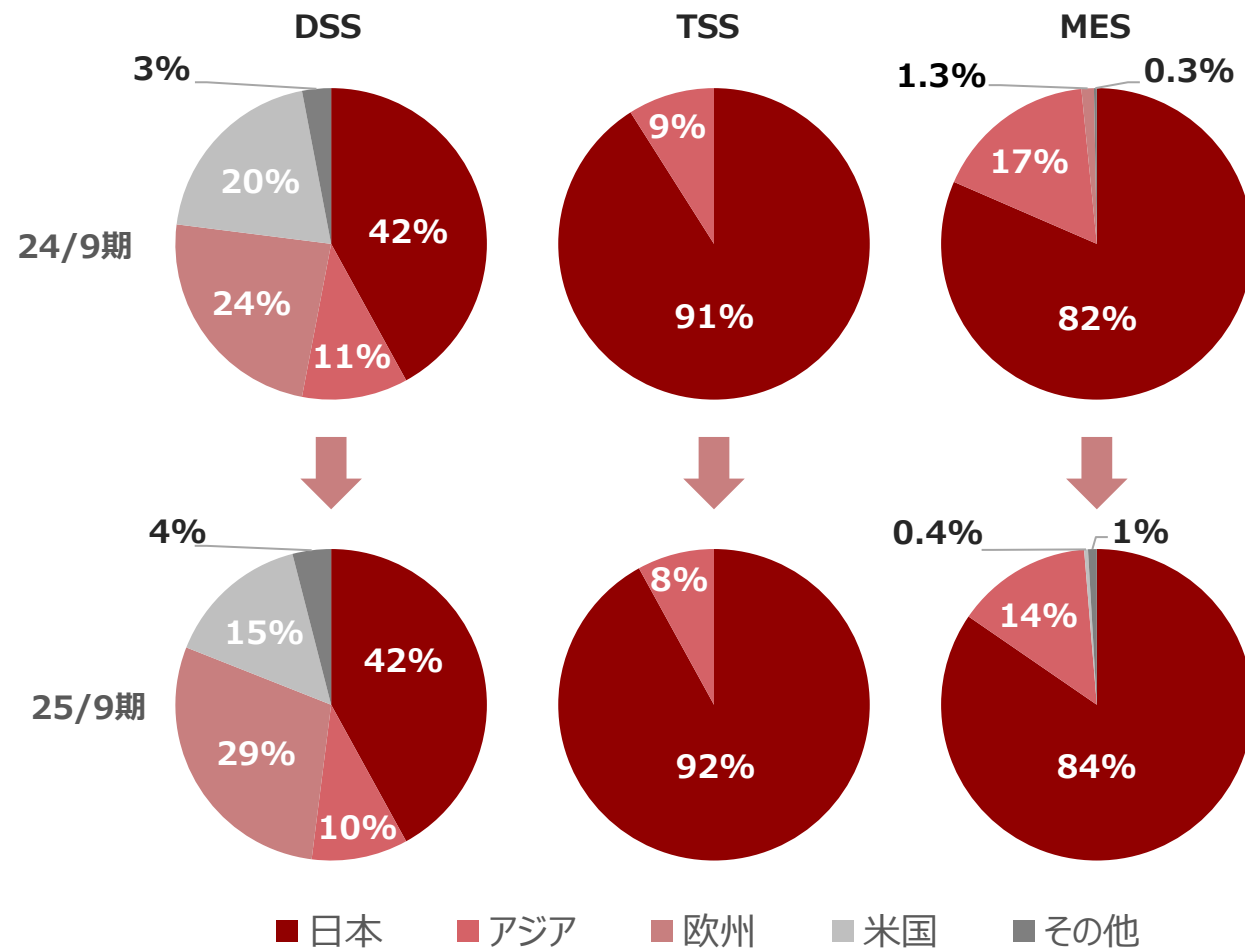
事業別 売上高推移

- ・DSSの売上伸長が全体を牽引し大幅な増収
- ・TSSは継続して事業が拡大傾向、継続的な投資の効果も現れている

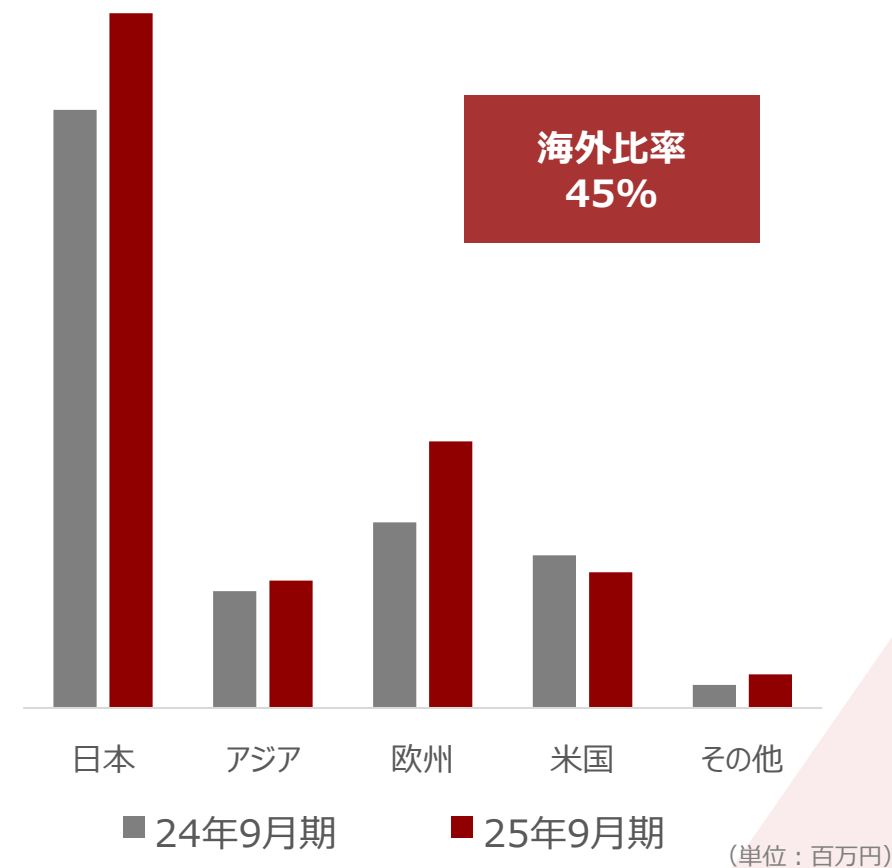


事業別 地域別 売上構成比・売上高

・DSSは欧州比率が拡大も、全地域にて需要が堅調で事業が伸長
・TSS・MESは日本国内での売上が大多数を占める



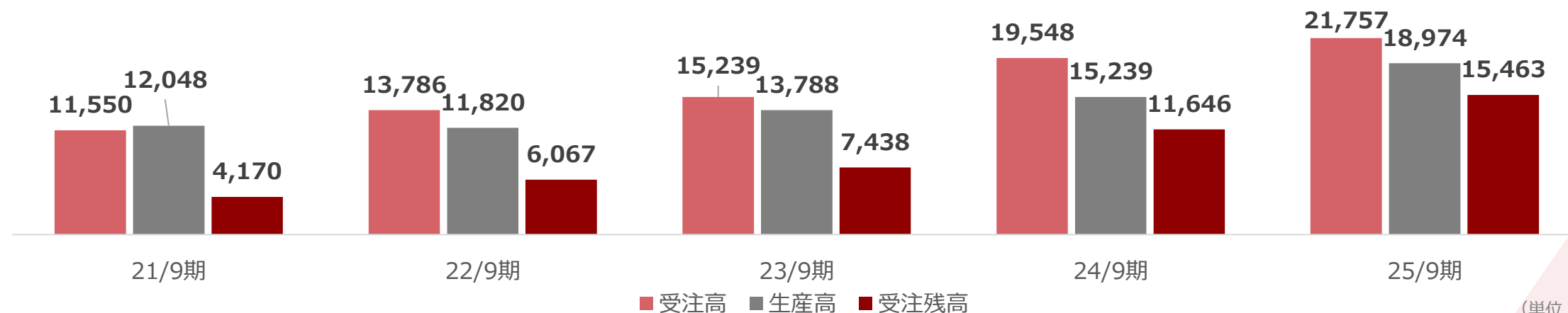
全社地域別売上高



事業別 受注高・生産高・受注残高

- ・受注高＞生産高の流れが続き、受注残高が増加
- ・工場の生産エリア拡大を行い、生産キャパシティ増加

	受注高			生産高			受注残高		
	24/9期	25/9期	増減	24/9期	25/9期	増減	24/9期	25/9期	増減
DSS	14,952	16,760	+12.1%	10,784	14,048	+30.3%	10,682	14,420	+35.0%
TSS	3,400	3,864	+13.6%	3,142	3,693	+17.5%	564	741	+31.4%
MES	1,195	1,133	△5.2%	1,312	1,232	△6.1%	400	301	△24.8%
全社	19,548	21,757	+11.3%	15,239	18,974	+24.5%	11,646	15,463	+32.8%



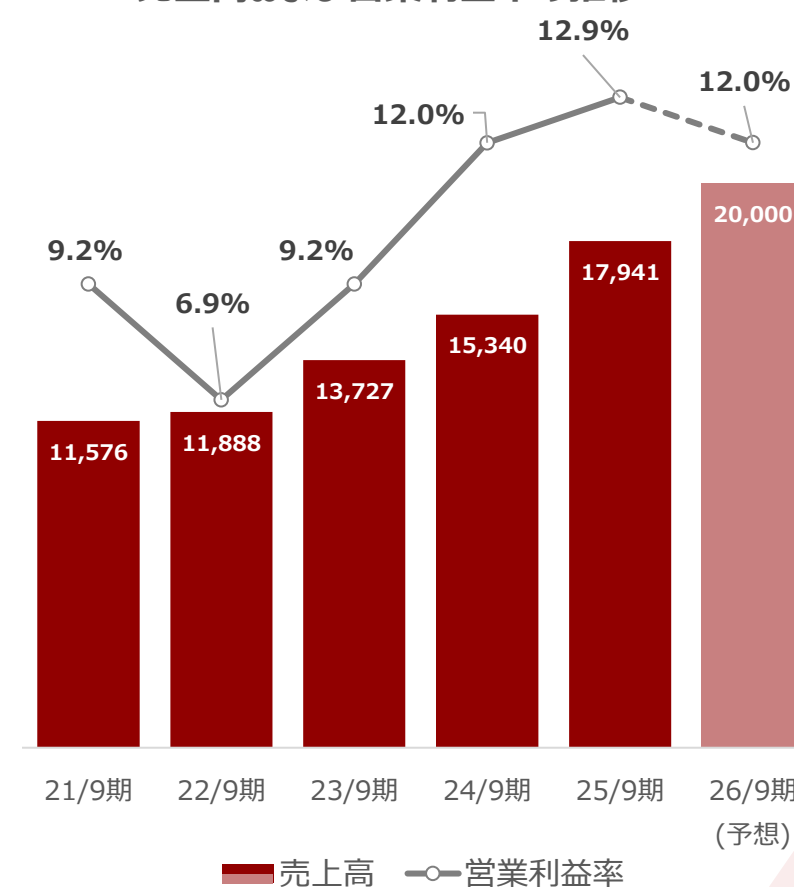
(単位：百万円)

業績の見通し（通期・連結）

- ・新規受注高の増加を受け、26/9期は売上高20,000百万を見込む
- ・必要な設備投資や研究開発活動を継続することで更なる競争力の向上を図る

	25年9月期 実績	26年9月期 予想	増減
売上高(百万円)	17,941	20,000	+ 11.5%
営業利益(百万円)	2,315	2,400	+ 3.7%
経常利益(百万円)	2,569	2,400	△6.6%
当期純利益（親会社株主帰属）(百万円)	1,935	1,850	△4.4%
売上高営業利益率(%)	12.9	12.0	△0.9pt
1株当たり当期純利益(円)	121.68	116.28	-
1株当たり配当金(円)	30.0	30.0	-

売上高および営業利益率の推移



Index

1. 2025年9月期決算サマリー
2. 中期経営計画の見直し
3. 各種の取り組み
4. Appendix

経営指標の修正

- ・安定した収益力と資本効率の高さを維持し、持続可能な成長を実現
- ・足元の受注状況が堅調に推移していることから経営指標を修正

経営指標	24年9月期 実績	25年9月期 実績	26年9月期	27年9月期
売上高 (連結) (修正前)	15,340百万円	17,941百万円 (16,500百万円)	20,000百万円 (17,200百万円)	20,500百万円 (18,000百万円)
EBITDA (修正前)	2,455百万円	2,991百万円 (2,594百万円)	3,150百万円 (2,774百万円)	3,600百万円 (3,065百万円)
		3年後成長率145%以上		
EPS (修正前)	88.75円 (88.75円)	121.68円 (95.46円)	116.28円 (101.08円)	130.65円 (108.42円)
		3年後成長率145%以上		
ROE	現在のROE水準を保ちつつ、事業を伸長させていく			

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

・安定的な額の配当から、利益と連動した株主還元方針へ

	19/9期	20/9期	21/9期	22/9期	23/9期	24/9期	25/9期	26/9期 (予定)
配当金	8.5円	8.5円	10.0円	10.0円	12.0円	20.0円	30.0円	30.0円
連結配当性向	37.6%	43.7%	17.4%	15.3%	17.4%	22.5%	24.7%	25.8%
自己株式取得（額）	—	—	—	—	—	243,837千円	—	— (未定)

従来

額を基準に安定的な配当を重視

業績がふるわない場合にもなるべく
定期的に株主の皆さまへお配りするため

今後

最終の利益（純利益額）と連動した配当を重視
臨機応変に自社株買いを実施

獲得した利益をより積極的に株主の皆さまへお配りするため

当社業績の伸長スピードや
株主・投資家の皆さまの
意識の変化を認識

Index

1. 2025年9月期決算サマリー
2. 中期経営計画の見直し
3. 各種の取り組み
4. Appendix

- 定期点検と装置校正の積極的な提案を実施
- 装置を正常な状態に維持することで、試験品質向上を実現

定期点検推進

装置のダウンタイム低減

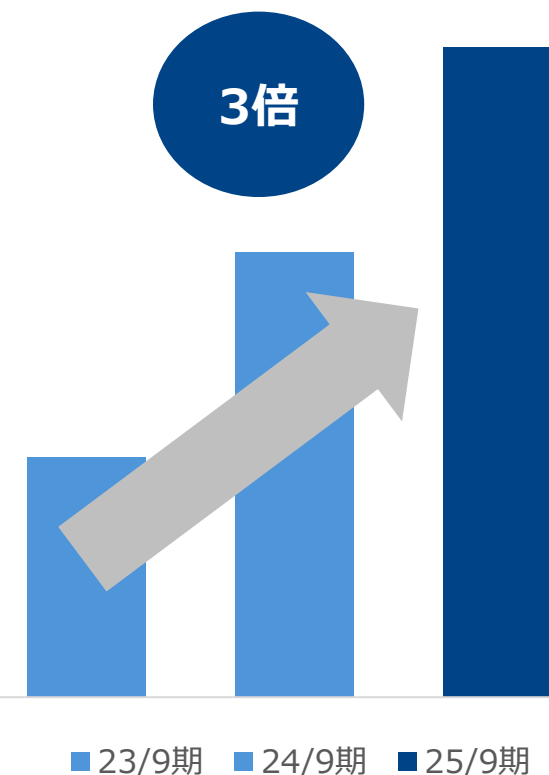
計画的な保守で、故障等による試験中断リスクを低減し、お客様の生産性向上・開発期間の短縮に貢献

装置校正の推進

ISO17025校正サービス強化

試験精度の向上に寄与
認証校正により、お客様の試験品質を保証する

ISO17025校正数



極上のサービス提供

トレーニング・教育

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

- 少子高齢化による現場を知るヒトの減少と技術伝承不足という課題
→振動に関する知識の向上を目的としたお客様向けセミナーを開催
- 実施満足度は100%を達成
- お客様向けセミナーの効果
 - お客様の技術力維持と向上に貢献
 - 評価試験コンサルタントとしてお客様との繋がりを強化し製品開発パートナーへの進化促進



座学セミナー



実機を用いたセミナー



極上のサービス提供

迅速な対応・試験サポート

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

- 2025年8月、横浜に新拠点を設置
- 2026年、アメリカの西海岸（アナハイム）に新拠点の開所を予定
 - 今後増加が見込まれるUSA向け装置についても、お客様に極上のサービスを提供

国内サービス拡充

迅速な対応の実現

お客様へ適時メンテナンス部品提供
オンサイトメンテナンスの迅速化
顧客対応品質の向上と顧客満足度の向上

グローバルサービス強化

あらゆる地域で製品開発を止めない

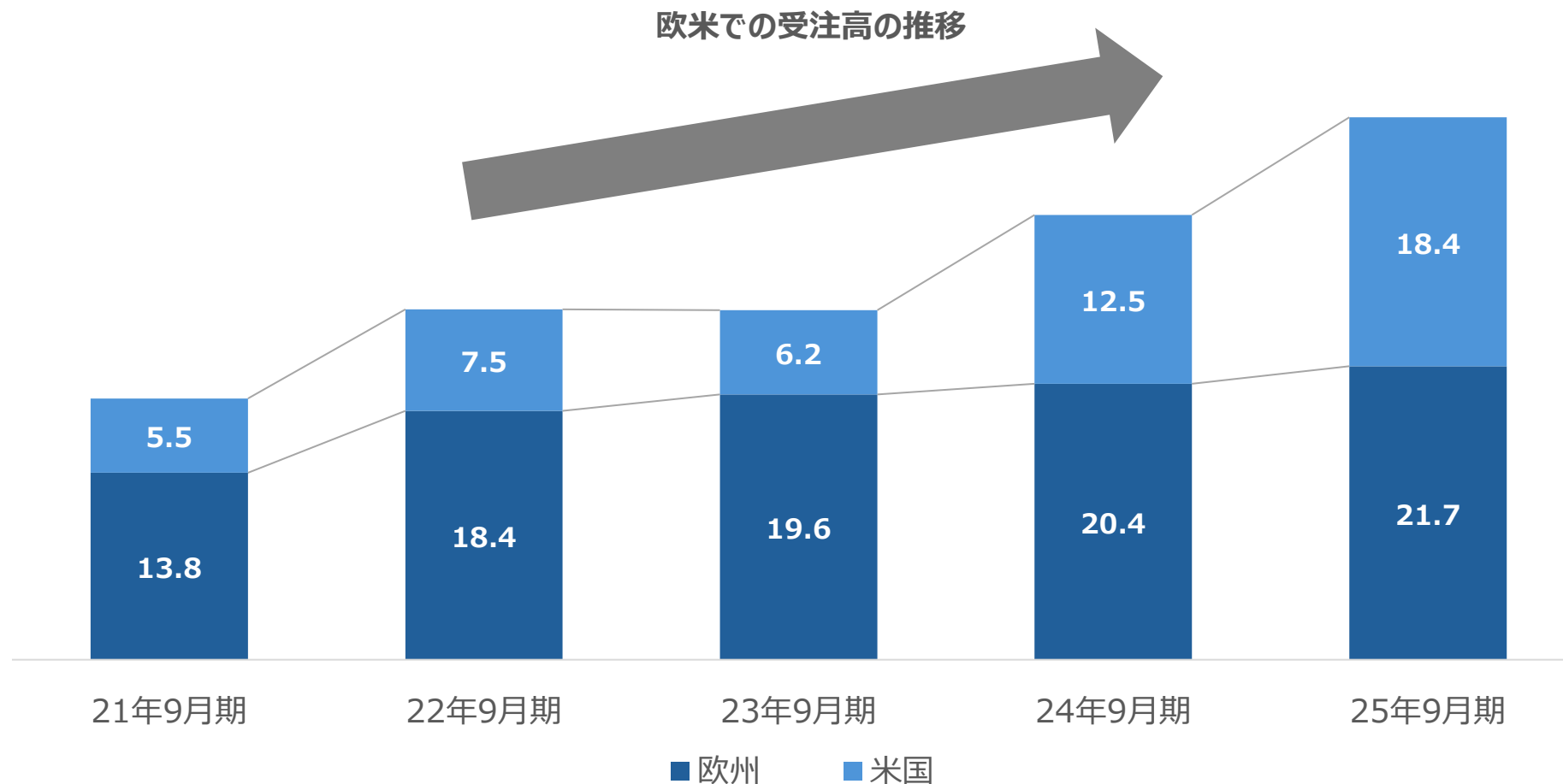
海外サービス体制の強化と海外市場展開
海外売上高のさらなる伸長



DSS 特徴的な市場

欧米市場の成長

- 海外市場が実需ベースで着実に成長、特にアメリカ市場の成長が顕著
- 欧米の航空宇宙・防衛主要企業との取引拡大
- NATO諸国では国防予算拡大が背景に



DSS 特徴的な市場

欧米の航空宇宙・防衛産業

- 大型装置受注の大半が航空宇宙・防衛産業向け
 - 試験所での用途も航空宇宙・防衛向けがメイン
 - 自国防衛意識の高まりや国防予算拡大が作用
 - NATO：国防予算目標を2035年までにGDP比 2%から5%に引き上げる
- 今後も両分野における需要は継続する見込み

欧米への大型装置の販売(航空宇宙・防衛産業向け)

国	航空宇宙	防衛	試験所	その他
アメリカ	1		2	1(電機)
ドイツ		1	1	1(自動車)
その他	3			

(単位：台)

水冷式大型振動試験機

最大搭載重量500～3,000kgのKシリーズを販売
水冷式は吸気・排気の騒音が発生せず、静音で試験環境を向上



航空宇宙・防衛産業への納入実績

Thales Alenia Space Italy社 (イタリア)

同社はフランスの大手電機企業であるThales Groupと、イタリアの航空宇宙・防衛産業大手のLeonardo S.p.S.が共同出資するThales Alenia Space (TAS) の一員。TASはヨーロッパを代表する人工衛星開発・宇宙インフラ企業の一つである。

- 同社より航空宇宙向けの大型振動試験装置を受注し、納品作業を開始
- 同社のSpace Smart Factoryはイタリア国内でも注目されており、2025年10月の開所式には同国のSergio Mattarella大統領も出席した

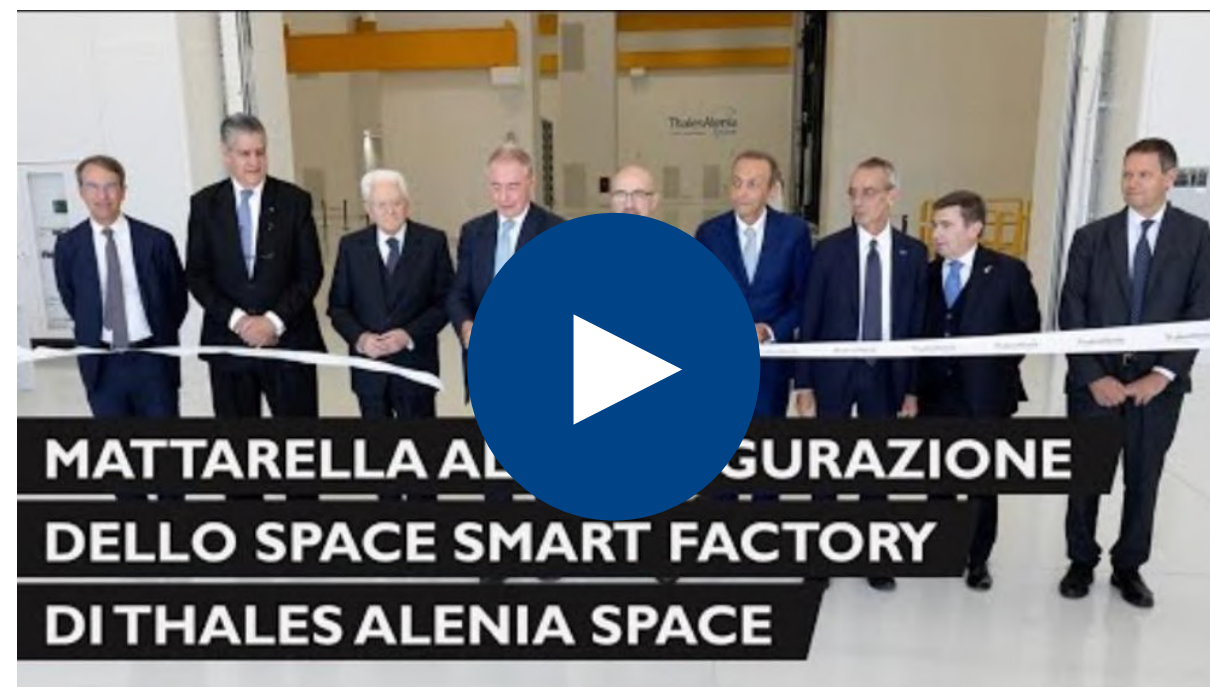
開所式の様子：

<https://www.youtube.com/watch?v=riKd0rt95A8>

Presidenza della Repubblica Italiana Quirenaleより



動画はQRコードからでもご覧いただけます。



DSS 特徴的な市場

成長の要因

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

- 長年培ったIMVの振動技術、大手試験所への**豊富な納入実績**
- 世界四大陸に存在するネットワーク
- IMVの振動技術を更に活かす航空宇宙・防衛産業の要求を満たす治具サプライヤーとの強固な連携

→ これらの**総合力により適正品質を実現**

「海外の航空宇宙・防衛産業」への販売障壁を乗り越え、プレゼンスを確立



振動技術・知見
豊富な納入実績



世界各地のセールス・サービス
ネットワーク
迅速な顧客対応力



CENTROTECNICA
stress to ensure



1gdynamics



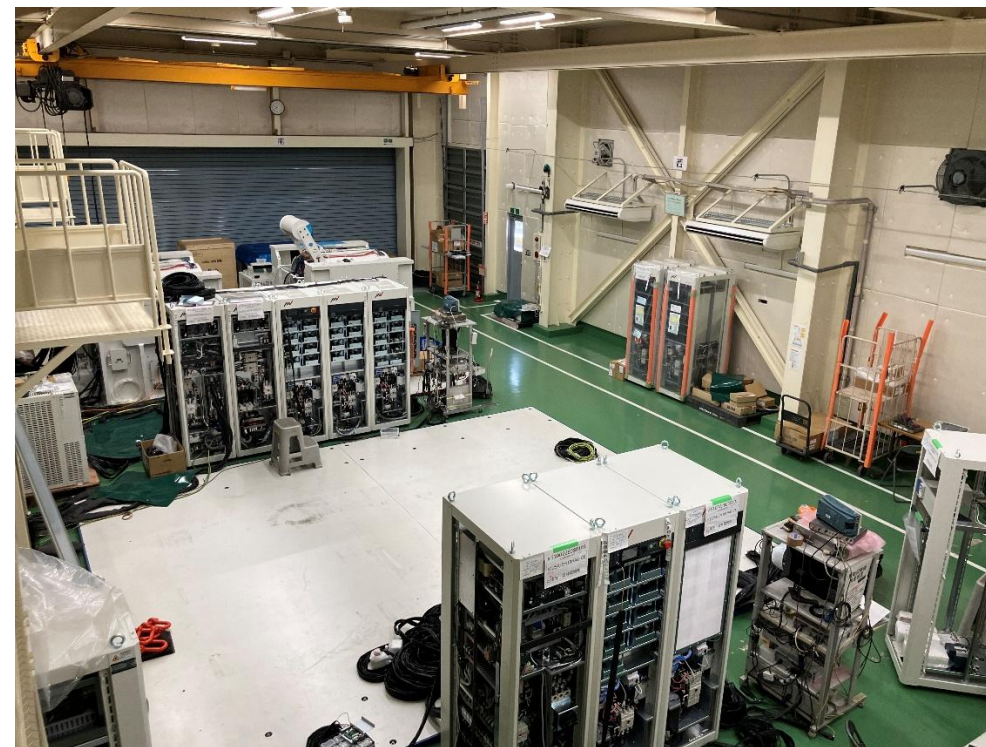
特異な治具技術力
航空宇宙・防衛要求
に合致する特性

DSS 特徴的な市場

生産能力の増強を実施

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

- 欧米の航空宇宙・防衛産業に限らず、日本国内でも大型試験装置が盛況
- 大阪テストラボエリアの一部を大型試験装置生産エリアとして割り当て、生産エリアを拡大
- 2025年2月から運用を開始した
- 生産エリア拡大の効果
 - 期中に生産した大型振動試験機 Kシリーズのうち約40%が新規増設エリアを使用して製造



今後の投資

「先進技術センター(仮称)」の建設

- 大阪本社にて「先進技術センター(仮称)」の建設を予定
- 2027年1月頃の稼働開始を目指す

背景・課題

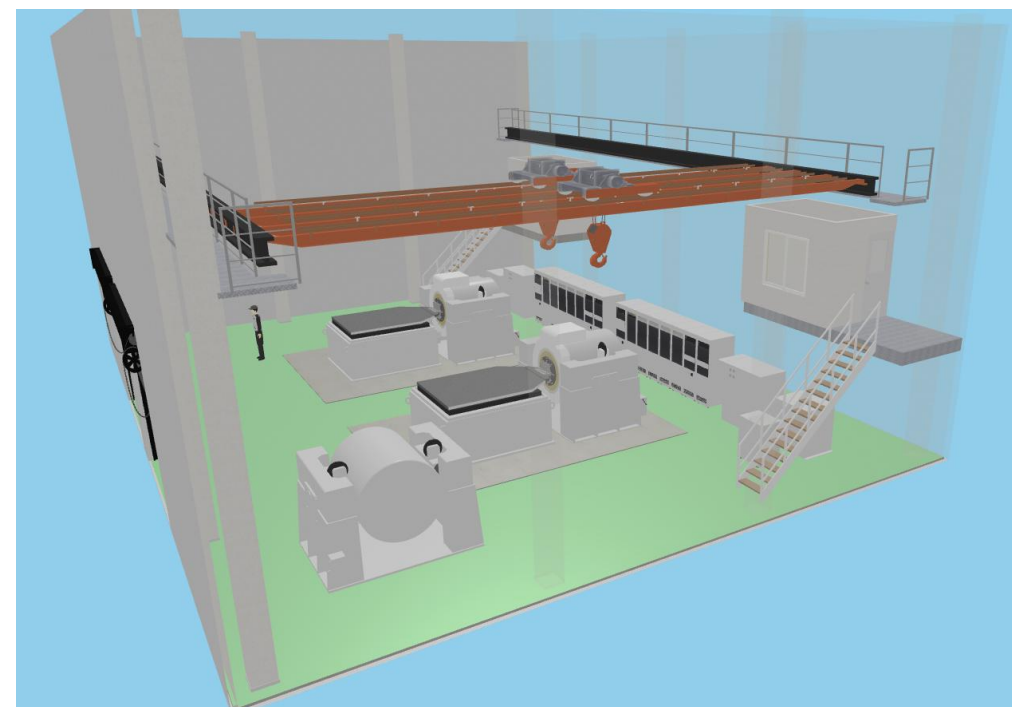
- 多目的試験所・日本高度信頼性評価試験センター(e-TCJ)等、各地の試験所が活況
- 大型試験装置の検査エリア不足
- 装置開発に必要なエリアが手狭に



先進技術センター

- 新規試験所としての活用を中心に、多目的施設としてもものづくりや研究開発にも寄与
- 現在抱える課題の解消をねらう

完成予想図



Index

1. 2025年9月期決算サマリー
2. 中期経営計画の見直し
3. 各種の取り組み
4. Appendix

Secure the Future ～未来の安全・安心のために～

IMVは、事業を通じて世界の安全・安心に寄与し、
持続可能な社会の実現に貢献します

IMVで働く人々は、すべての業務が世界の安全・安心に繋がることを常に意識し、
またそれを誇りに思います

IMV Technologies in Your Life



飛行機
飛行中の振動を再現

トンネル
ゆれや老朽化をモニタリングし安全性を評価

高層建築
地震時の揺れを記録し挙動を可視化

ロケット
発射時の振動を再現

ドローン
飛行中の振動を再現し安全性を試験

人工衛星
発射時と宇宙空間で加わる振動ストレスを再現

橋梁
劣化や地震後の健全性を確認するためにセンサーを設置

風力発電
経年劣化を探知し二次災害を防止

建物全般
建物の健全性を常時計測＆モニタリング

化粧品
ブランドロゴが擦れたり剥がれたりしないかを確認

医療機器
運搬時の振動で機械が壊れないか試験

家電製品
地震振動を再現し安全性を評価する

薬品
輸送時の揺れで薬品に影響が出ないか確認

工場設備
計測器で設備の稼働状況や異常振動をモニタリング

テーマパーク
地震計で災害発生時の設備挙動を記録する

アミューズメントマシン
飛行中の振動を再現し安全性を試験

水門
被災時に自動で水門の開閉を行う

水処理施設
安定稼働のため装置の振動や挙動を常時計測

トラック
運搬中の揺れで食品や製品が壊れないかを確認

燃料電池
EVが安全に走行するために貢献

テストラボ
あらゆる製品を試験し安全性を確認

電子機器
通常使用で壊れないよう試験し評価を行う

スマートフォン
振動や落下に強いチェック

会社概要

Company Profile

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来



商号	IMV株式会社 [英文社名：IMV CORPORATION]
会社設立	1957年（昭和32年）4月17日
資本金	4億6481万円
従業員数	471名（2025年9月30日現在 連結）
年間売上高	179億4,100万円（2025年9月期 連結）
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	7760
決算期	9月30日



イギリス
IMV EUROPE LIMITED



ドイツ
IMV EUROPE LIMITED



タイ
IMV (THAILAND) CO., LTD.



アメリカ
IMV America, Inc.



フランス
IMV France



ベトナム
IMV TECHNO VIETNAM
COMPANY LIMITED



上海
IMV株式会社 上海代表所



DSS

Dynamic Simulation Systems

振動試験装置

振動試験装置

半導体のような小型部品から自動車部品、あらゆる製品の評価に使用されます。従来機より性能が向上したAシリーズは、これまで不可能だった試験を可能にします。



水冷式大型振動試験装置

人工衛星や鉄道車両のような大型製品の評価に使用されます。大型でありながら、水冷式を採用することにより試験中の騒音を最小限に留め、試験環境の向上を実現した製品です。



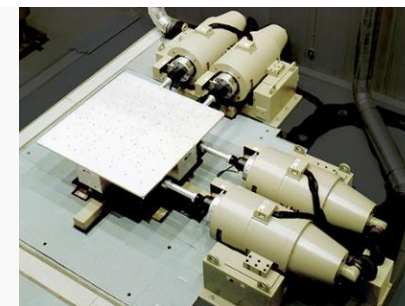
振動制御器 K2+

試験内容を忠実に実施させるためのコントロールユニットです。ハードウェア・ソフトウェア全てを自社開発し、複雑な試験でも簡単に実施可能します。



多軸多点振動試験装置

現実にかかる振動環境の正確な再現が可能です。



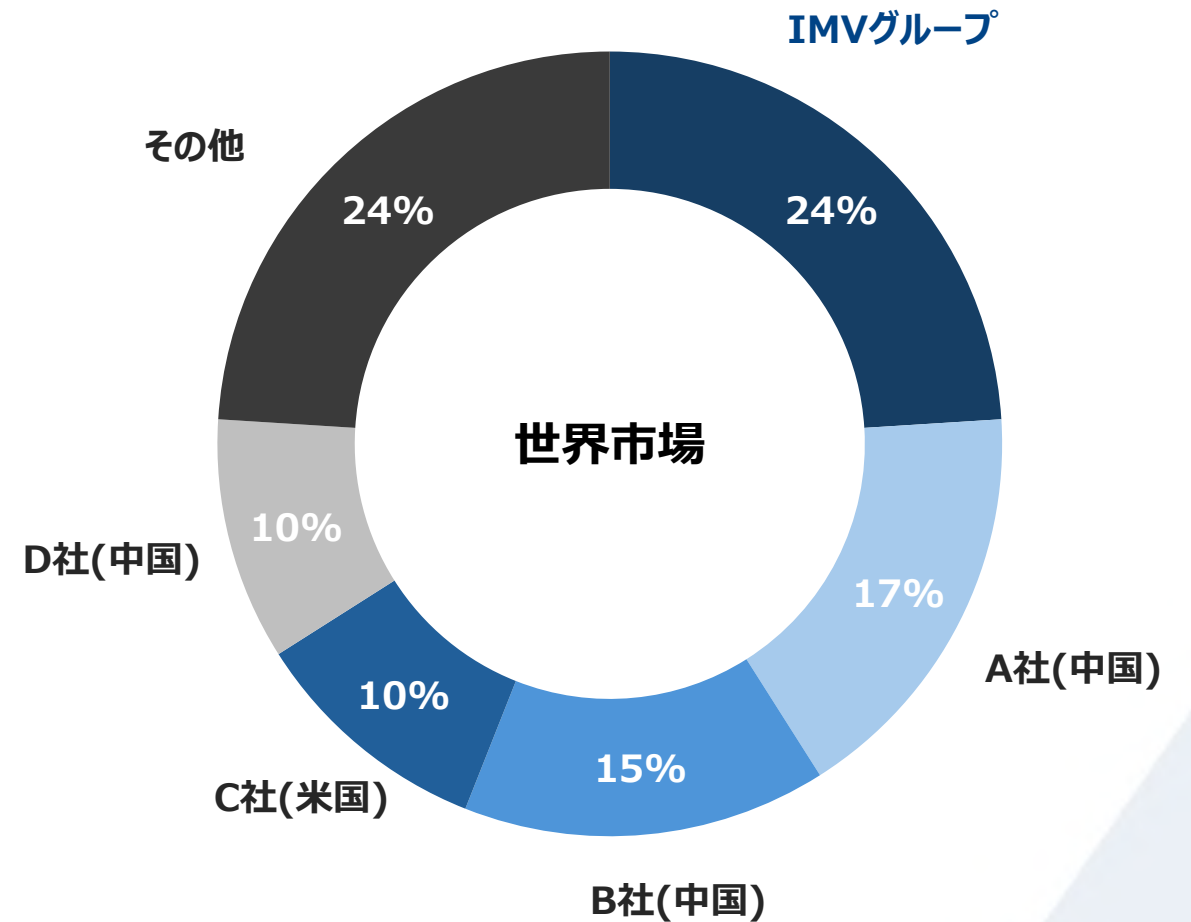
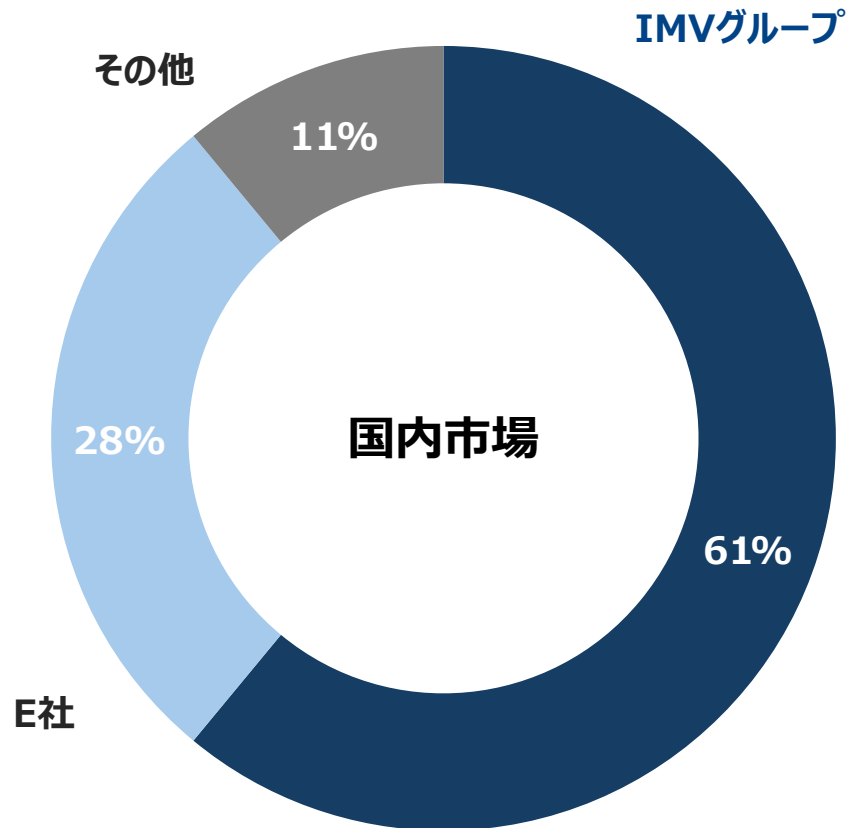
温湿度環境振動試験装置

車載用機器や電気機器等に対して、振動と温湿度等を同時に加えることで、実際の使用環境に即した試験を可能とします。

小型振動試験装置・高周波振動試験装置

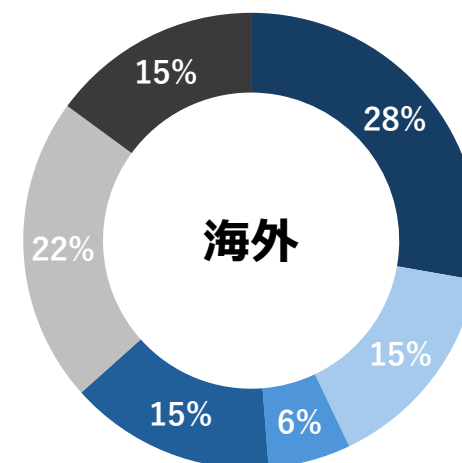
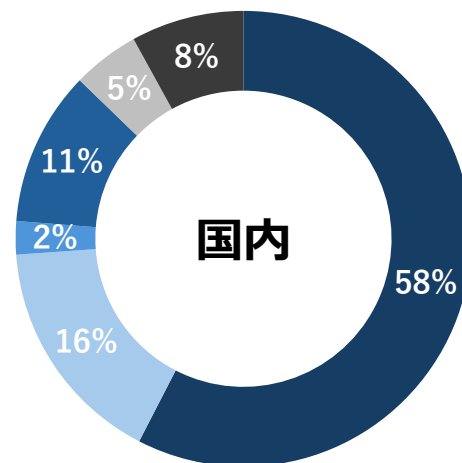
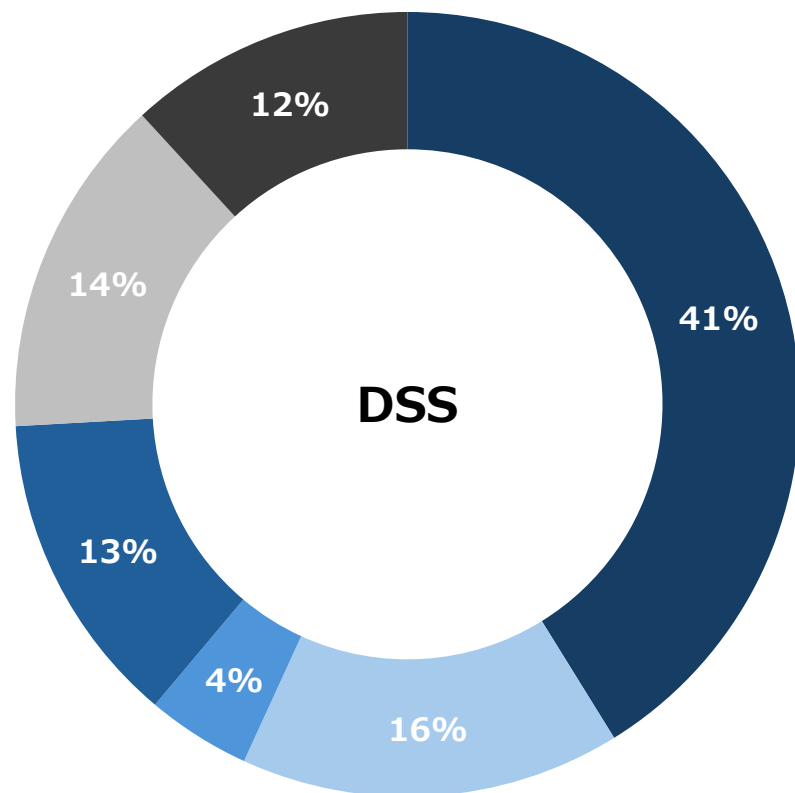
小型・低騒音でありながら本格的な試験にも対応可能な装置です。さらに小型振動試験装置と恒温槽を組み合わせることで2k~10kHzまでの高周波の複合試験が可能な高周波振動試験装置も取り揃えております。

DSS 販売シェア状況 (当社独自調査)

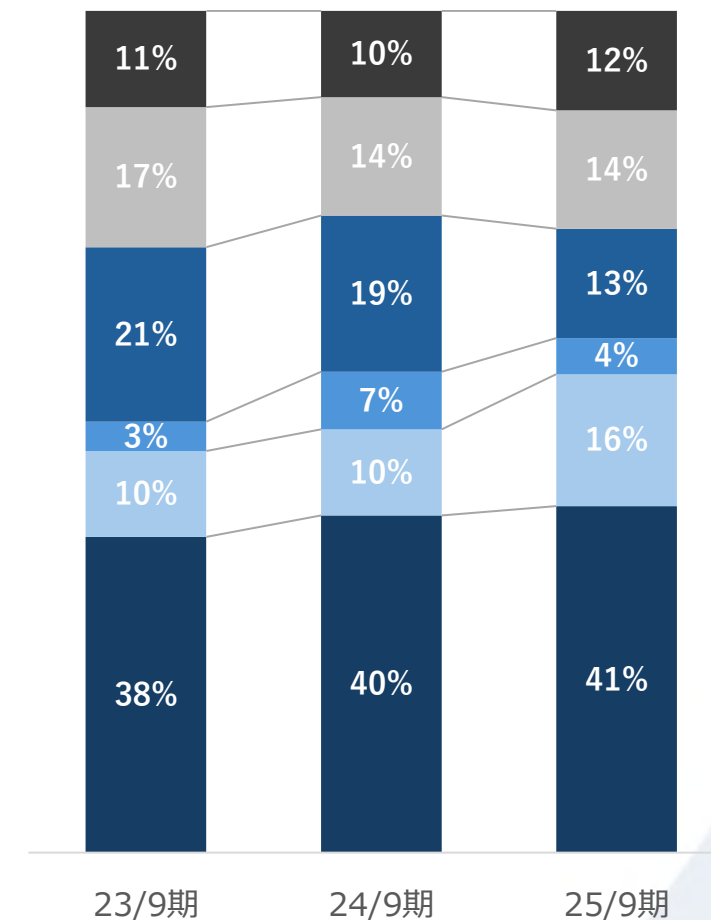


DSS 産業別売上状況 (サービスを除く)

構成比



構成比推移



自動車

防衛

航空宇宙

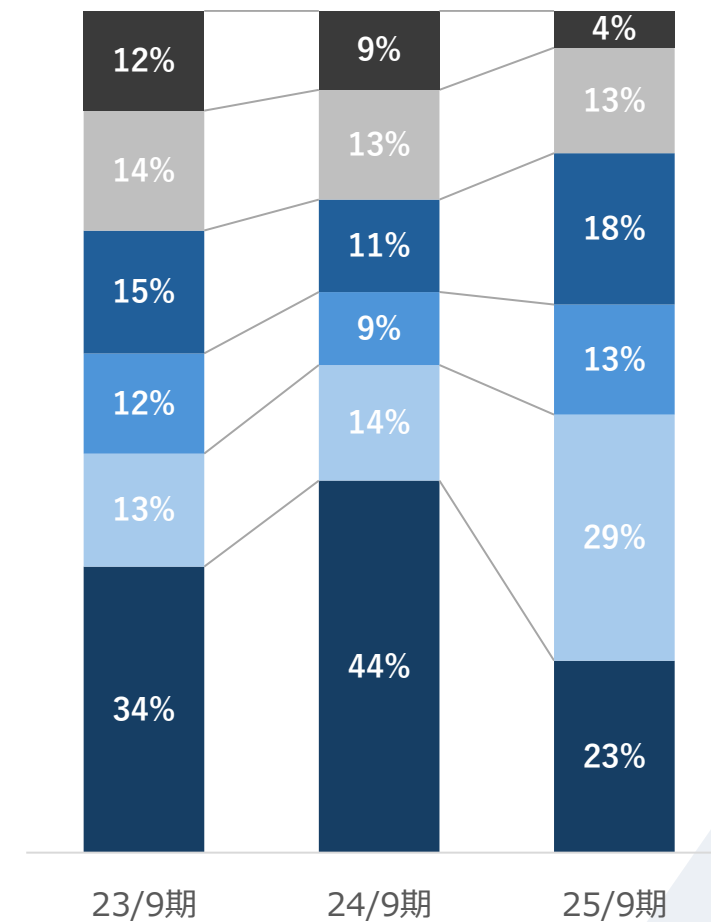
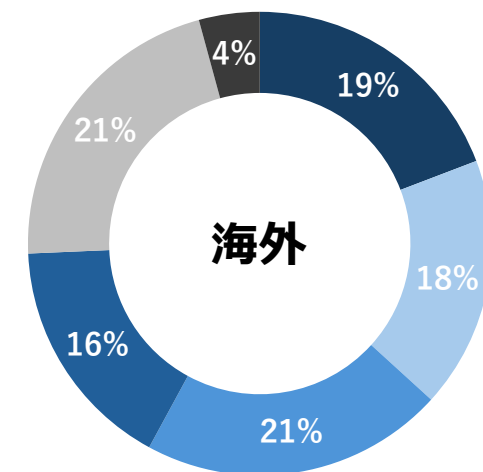
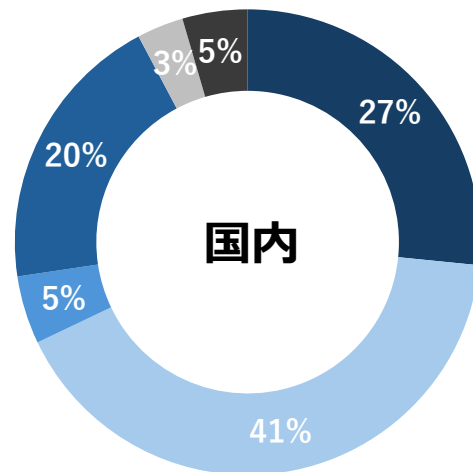
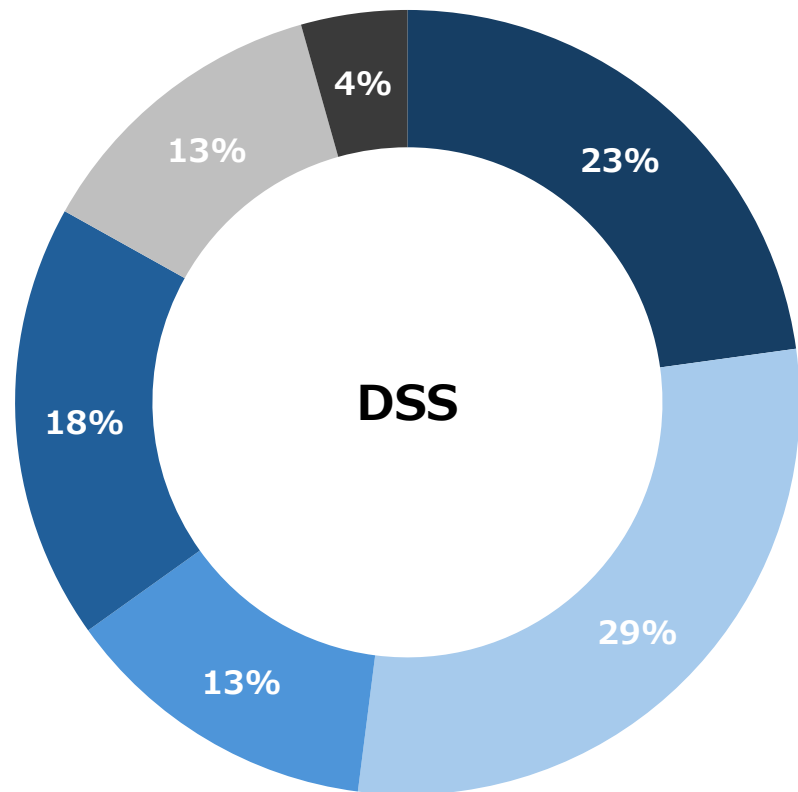
機械・建機・鉄道

試験所

その他

DSS 産業別受注状況 (サービスを除く)

構成比



自動車

防衛

航空宇宙

機械・建機・鉄道

試験所

その他

主な納入先

Vibration Test Systems | 振動試験装置

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

- アディエント合同会社
- インターステラテクノロジズ株式会社
- EIZO株式会社
- 江崎グリコ株式会社
- 大阪電気通信大学
- キヤノン株式会社
- 京セラ株式会社
- キリンホールディングス株式会社
- JAXA
- 住友電装株式会社
- 千石株式会社
- ソニー株式会社
- 大研医器株式会社
- TDK株式会社
- 株式会社デンソー
- 東芝インフラシステムズ株式会社
- TOTO株式会社
- トヨタ自動車株式会社
- ニチコン亀岡株式会社
- 日産自動車株式会社
- 日本たばこ産業株式会社
- VAIO株式会社
- パナソニック株式会社
- フジテック株式会社
- 株式会社堀場製作所
- 株式会社マキタ
- マツダ株式会社
- 株式会社Mizkan
- 株式会社安川電機
- ヤンマー株式会社
- ヤマキ株式会社
- ローランド株式会社
- AIRBUS
- AKUVIB Engineering and Testing GmbH
- AUDI AG
- AUMA Riester GmbH & Co. KG.
- Auto-Kabel Management GmbH
- Bertrandt Ingenieurburo GmbH
- BMW
- CUONICS GmbH
- DIXI Microtechniques
- EDAG Engineering AG
- Eurofins Product Service GmbH
- FEV Europe GmbH
- fos4X GmbH
- Institute of Air Handling and Refrigeration
- KFE GmbH
- Kostal Kontakt Systeme GmbH
- 合併会社PATAC
- SGS S.A
- Vitesco Technologies Emitec GmbH

主な納入先

Vibration Test Systems | 振動試験装置

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来





 **IMV CORPORATION**

TSS

Test & Solution Service

テスト&ソリューションサービス

IMVテストラボの事業紹介

Test & Solution Service | テスト&ソリューションサービス

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

大阪テストラボ



大阪市西淀川区竹島2-6-10
開設：2005年

振動試験

電池試験

多目的試験所



大阪市西淀川区竹島2-6-10
開設：2025年

振動試験

大型・長尺

名古屋テストラボ



愛知県みよし市根浦町5-2-18
開設：2007年

振動試験

EMC試験

電池試験

東京テストラボ



神奈川県相模原市緑区日連870
開設：1988年

振動試験

IMV (THAILAND) CO., LTD



アマタシティ・チョンブリ工業団地
開設：2011年

振動試験

環境試験

上野原サイト 高度試験センター



山梨県上野原市八ツ沢2193-28
開設：2015年

振動試験

電池試験

日本高度信頼性 評価試験センター



埼玉県入間市宮寺4102番142
開設：2018年

振動試験

EMC試験

環境試験

春日井テストラボ



愛知県春日井市上条町3-24-5
開設：2019年

振動試験

IMV TECHNO VIETNAM CO., LTD



タンロン工業団地
開設：2018年

振動試験

環境試験

IMV TECHNO VIETNAM Ho Chi Minh City Laboratory



ホーチミン市
開設：2025年

振動試験

環境試験

長期保管

IMVテストラボの事業紹介

Test & Solution Service | テスト&ソリューションサービス

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

1. 試験所認定（ISO/IEC17025）取得済

IMV株式会社は振動・衝撃試験の受託業務を実施している国内テストラボ6拠点、海外テストラボ2拠点において、試験所の試験・校正を行う能力を規定した国際規格である「ISO/IEC 17025」に準拠した品質マネジメントシステムを構築し、認定機関から認定を受けております。



2. 情報セキュリティ認定（ISO27001）取得済

テストラボ事業本部は、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格「ISO27001」の認証を取得しております。



IMVテストラボの事業紹介

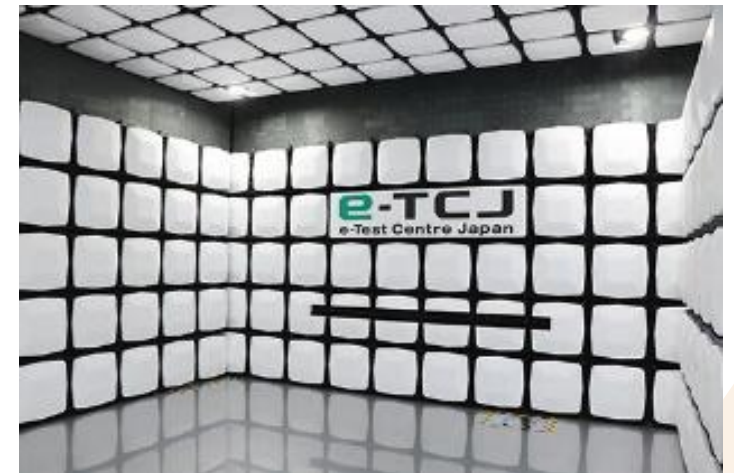
Test & Solution Service | テスト&ソリューションサービス

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

- ✓ 小型～大型機まで充実のラインナップ
- ✓ 自動車、航空宇宙、電子機器など様々な業界において2万件を超える試験実績
- ✓ シミュレーション試験技術の開発

小型から大型まで豊富な振動試験設備を保有しており、特に大型タイプは業界屈指のラインナップを有します。また複数加振機による多点加振(長尺物)環境も備えています。

振動試験以外にもハイスレス温度サイクル試験、塩水噴射試験等の環境試験や車載機器を中心としたEMC試験などにも対応しています。



特長ある試験サービスと業界屈指の試験環境

小型～大型機まで充実のラインナップ

小型から大型まで豊富な振動試験設備を保有しており、特に大型タイプは業界屈指のラインナップを有します。また複数加振機による多点加振（長尺物）環境も備えています。約半数は恒温槽を備える複合試験対応機となっており、これら多様な機器群によりフレキシブルな試験サービスを提供いたします。

信頼性評価試験

e-モビリティ（電気自動車の大型モータやインバータ等）の信頼性評価試験や電池専用の試験室を構築。
当社エンジニアによる試験計画策定・コンサルティングから、確認・分析までを総合的に提供するサービスも実施しています。

EMC試験

電気・電子製品に対しての電磁波の特性・耐性のあらゆる試験に対応しております。
製品分野別においても、車載機器をはじめ、民生機器・船舶機器・鉄道機器・工業機器・無線機器・医療機器など広範囲な試験にも対応しております。

環境試験

ハイストレス温度サイクル試験や塩水噴射試験など様々な環境試験に対応しています。

テストラボ向けiMV cloudサービス

お客様の試験・評価・開発活動を促進するIoTサービスです。遠隔監視やデータ管理など試験業務を効率化しお客様の課題を解決します。



MES

Measuring Systems

メジャリングシステム

製品ラインアップ

Measuring Systems | メジャリングシステム

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

地震監視装置

地震を常時監視し、発生時には設備を緊急遮断することにより二次災害の防止に貢献します。



FA用振動センサ

安価なMEMS素子でも10kHzまで正確に測れる超小型ピックアップをはじめ、多様なラインナップを取り揃えております。



構造ヘルスマニタリングシステム

ビルや橋梁といった構造物の多点に設置し、地震時および定期的に加速度波形を収集し速報や健全性を評価します。



FA向け状態監視ユニット

FA向け次世代の状態監視ユニットです。PLCと省配線システムAnyWireASLINKを介した双方向通信を実現します。



IoT関連商品

機械の状態監視と地震時の緊急対応両方でIoTでの活用を想定した製品の取り揃えております。



振動計測装置

床振動から機械装置の回転振動まで、あらゆる振動を計測します。



振動監視装置

発電所やポンプなどの機械振動を常時監視し、予防保全に活躍します。



「ジャパン・レジリエンス・アワード2025」にて優秀賞を受賞

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が主催する「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2025」において、優秀賞を受賞いたしました。

当社計測部門が開発した スリーエス地震計「SW-5033」を通じて、全国各地の公共施設や教育機関、インフラ設備における**地震監視・防災対策**に大きく寄与した点が 高く評価されたものです。「SW-5033」は、耐久性・省電力・高感度を兼ね備え、従来品と比較して低コストにも関わらず地震動を正確かつリアルタイムに計測できる常時観測型の地震計です。

今後も、「**振動を測る**」技術のリーディングカンパニーとして、自然災害に強い社会の構築を目指し**防災・減災への貢献**をさらに深化させてまいります。



スリーエス地震計（SW-5033）

新製品「振動診断ユニット VD-unit」をリリース

VD-unitは、PLC（プログラマブル・ロジック・コントローラ）と株式会社エニワイヤ社の省配線システムAnyWireASLINKを介した双方向通信を実現し、今まで難しいとされていた生産設備機械(省力化機械等)の振動を高度に監視する次世代の状態監視ユニットです。

従来のアナログ信号出力や警報接点に依存するシステムとは異なり上位のPLCとの連携により、**これまで監視が困難であった設備機械に対しても最適な状態監視を行うことが可能となりました。**設備機械の重要度に応じて柔軟に監視条件を設定できることが最大の特長で、自動で最適な閾値を導出します。PLCで制御可能で、初期導入や機械のメンテナンス作業が大幅に効率化されます。

機械設備の異常を早期に検知することで設備の突発停止を未然に防ぎ、生産性の向上および資源の効率的な利用を促進し、持続可能な社会実現に貢献します。





事前にIMV株式会社の許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止致します。
本資料に掲載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。
本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は公表時点で入手可能な情報に基づいており、
将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。

お問合せ先

IMV株式会社 経営戦略室



Eメール
info-ir@imv-corp.com



IR情報
<https://we-are-imv.com/about/ir/>